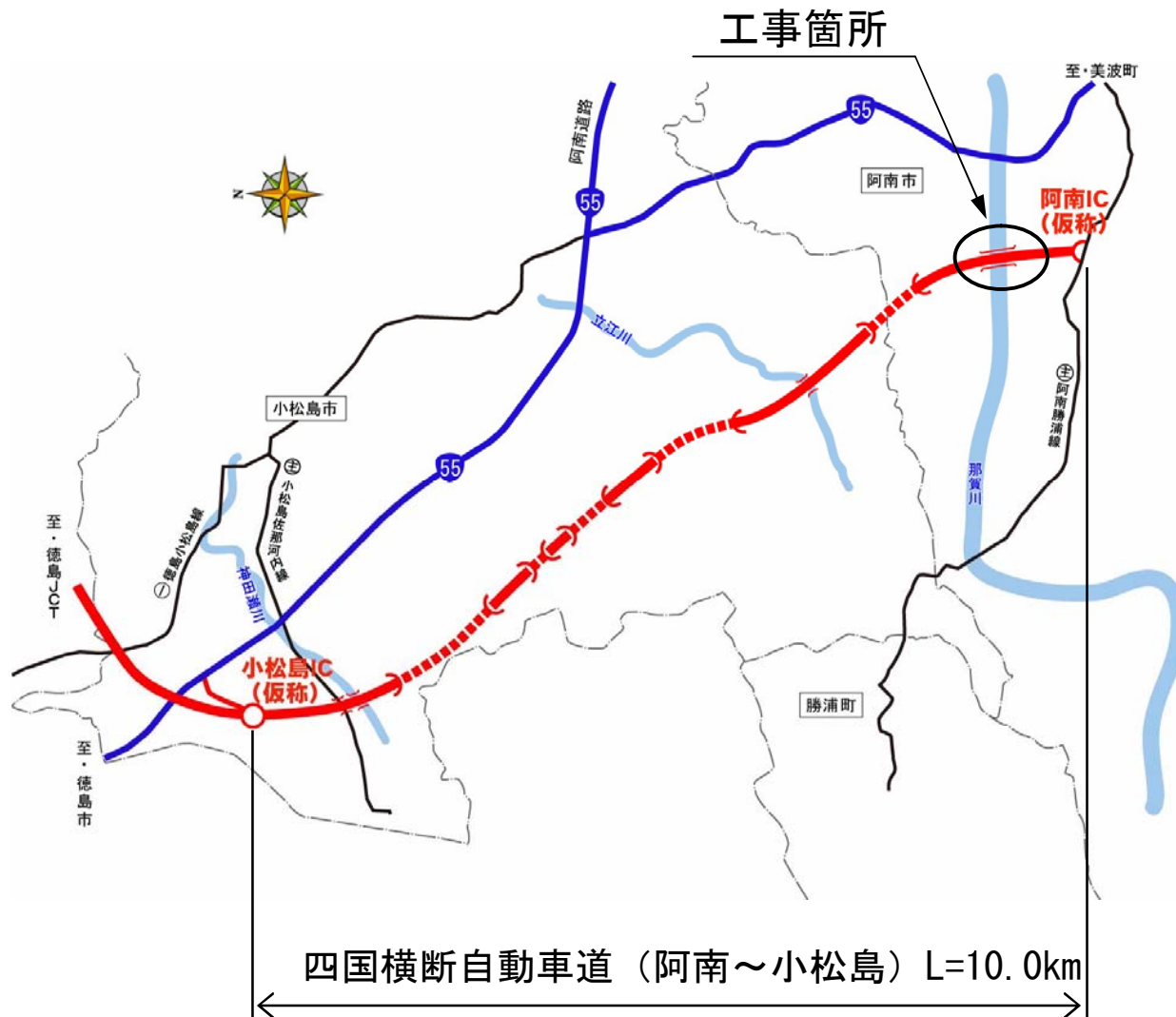


# 位置図及び事業概要

別紙-1



## 【事業概要】

四国横断自動車道は、阿南市を起点に、徳島市、高松市を経て四国中央市において四国縦貫自動車道と交差し、高知市、四万十市を経て大洲市に至る延長約440kmの路線である。この路線は、「四国8の字ネットワーク」の大部分を占め、四国における信頼性の高い道路ネットワークの確保や地域の閉塞感の解消など、広域交流と地域の「安心」と「活力」を支える重要な路線である。

阿南～小松島間は、新直轄方式により整備される区間であり、高速ネットワークの空白地帯解消のために計画されている地域高規格道路「阿南安芸自動車道」と相まって、四国東南部の発展に重要な役割を果たすことが期待されている延長約10kmの区間である。

※新直轄方式とは、道路関係四公団の民営化後の新たな会社による高速自動車国道の整備の補完措置として、必要な高速自動車国道を建設するため、国と地方の負担(国:地方=3:1)により国土交通大臣が整備する方式である。対象路線は、料金収入により管理費を賄えない路線、または地元公共団体が強くこの方式による整備を望む路線・区間であり、通行に際して料金を徴収しない。